

事業番号	06 05 03	事業改善シート (令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	自然公園施設整備事業	部局	環境部	課・室	自然保護課	
		実施期間	S33 ~	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加					
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり 4-5 地球環境への貢献					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】 自然公園を安心・安全に利用するため、登山道やトイレ等を始めとする施設整備を事業主体の要望に基づき計画的に進めている。
	【目指す姿】 自然公園内の施設整備により、県内の自然公園が有する美しく豊かな自然環境や風致景観が保全され、国内外から多くの人々が繰り返し訪れる。
	【実施内容】 自然公園管理、登山道等整備 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	自然公園利用者数	万人	3,819	2,289	↓	2,304	↑	3,743	未達成
2	環境配慮型トイレの整備率	%	83.4	85.2	↑	85.2	→	85.9	未達成
3									
4									
5									

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	93,408	101,700	598,885
	当初予算額	123,715	301,948	305,310
	補正予算額	62,600	484,396	-94,336
	合計(A)	279,723	888,044	809,859
	うち一般財源	53,795	62,983	64,082
決算額(B)		160,050	280,901	733,645
職員数(人)		8.4	8.4	8.4

成果指標及び目標値の設定理由	1. 自然公園を訪れる人の指標として自然公園利用者数を成果指標に設定(第四次長野県環境基本計画の目標値により設定) 2. 自然公園内の環境配慮型トイレ整備率を成果指標に設定(第四次長野県環境基本計画の目標値により設定)
達成状況の分析	1. 昨年度比では増加推移となったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出など、外出自粛の影響により増加幅は0.7%にとどまったため、目標には達しなかった。 2. し尿処理されずに地下浸透や自然放流している山小屋等に対し、トイレ改修に向けたコーディネート(条件整備、調整)を行った。しかしながら、新型コロナの影響により、事業主体において施設整備への資金不足が生じたため、申請に至らず整備が行われなかった。

主な取組	<p>○自然災害への対応(令和元年東日本台風(台風19号)、令和2年7月豪雨、令和3年5月大雨など)</p> <p>従来の登山道整備に加え、令和2年度から「登山道災害復旧支援事業」を新設 →自然災害により被災した登山道について市町村等による早期復旧を支援</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>被災後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>復旧後</p> </div> </div> <p>茅野市: 美濃戸口登山道(ジュウゴ沢)</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>被災後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>復旧後</p> </div> </div> <p>茅野市: 桜平登山口</p>

<p>○御嶽山ビジターセンター整備(設計・建築)</p> <p>コンセプト: 御嶽山を知り、火山を理解し、次世代につなげる</p>		<p>設置の狙い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年噴火の記録と記憶の伝承 ・火山を学び、安全に登るための知識の習得 ・御嶽山麓の観光拠点として地域を活性化 ・火山マイスター等の活動拠点
---	--	--

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響により、山小屋関係団体の資金不足等が生じており、登山道等の整備希望はあっても実施できないケースがある。 ・火山防災情報や御嶽山の自然・文化(地形、動植物、噴火等の歴史など)情報を発信する魅力ある施設を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山小屋関係者が行う登山道等の整備の公益性に鑑み、ふるさと信州寄付金を活用した山岳環境保全事業の補助要件の見直しを引き続き検討する。 ・令和4年8月27日に開館した県立御嶽山ビジターセンター(やまテラス王滝)と、木曾町のビジターセンター(さとテラス三岳)の両館が連携し、火山防災知識の普及・啓発等を通じて、多くの方に自然公園を楽しんでいただく施設運営を行っていく。

事業名	自然公園施設整備事業	部局	環境部	課・室	自然保護課
-----	------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	自然公園施設整備事業	160,050 千円	280,901 千円	733,645 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	中央アルプス国定公園重点整備支援事業	補助金	・中央アルプス国定公園の施設整備を行う市町村への重点支援(5箇所)
2	ふるさと信州寄付金等活用山岳環境保全事業	補助金	・自然公園内で市町村が管理する自然公園施設の改修等への補助 (当初予算分14箇所 → 2月補正予算で3箇所削減 計11箇所) ・山小屋事業者等が行う自然公園内の登山道維持管理への補助 (当初予算分16箇所 → 2月補正予算で6箇所削減 計10箇所)
3	自然公園施設等整備事業	直接	・自然公園等における具有施設の補修及び改修等の実施(2路線)
4	自然環境整備支援事業	補助金	・国立、国定公園、県立公園内の市町村管理自然公園施設の改修への補助 (当初予算分14箇所 → 1月補正予算で2箇所追加 → 2月補正予算で2箇所削減 計14箇所)
5	登山道災害復旧早期支援事業	補助金	・登山者、自然公園利用者の安全を確保するため、市町村等が実施する指定登山道の早期災害復旧を支援